

「三カタ」を知れば面白い！
これであなとも歌舞伎通！



歌舞伎の「三カタ」

歌舞伎ウラオモテ講座 附け打ちさんと語る歌舞伎の楽しみ



山崎 徹

T²Generation代表。附けの會主宰。歌舞伎附け打ち。1969年2月28日生。1992年より国内外での花形歌舞伎・大歌舞伎公演を中心に従事。これまでの主な担当公演は、渋谷コクーン歌舞伎・平成中村座公演（国内・海外）シリーズ、歌舞伎NEXT「阿豆流為」（2015）・赤坂大歌舞伎「赤目の転生」（2017）・「風の谷のナウシカ」（2019）・滝沢歌舞伎（2016-2022）、また宝塚雪組「るろうに剣心」（2016）・サンリオピューロランド「KAWAII KABUKI」（2018-2023）・花組芝居「地獄變」（2020）など、その他多くの公演において技術指導・録音での参加をしている。海外公演は1997年12月松竹大歌舞伎PARIS-Bordeaux公演（五世富十郎・四世雀右衛門）から参加。日々、歌舞伎に寄り添いながらその経験を活かし多彩な分野のコラボレーション作品で音附けのチャレンジを続けている。「附けの會」では、伝統芸能の魅力を伝える會として、全国各地での企画公演、地歌舞伎との技術交流・学校公演・子ども向けワークショップなどを開催中。

三浦 広平

東京深川生まれ。立教大学文学部卒、日本大学芸術学専攻研究科修了。イヤホンガイド40周年記念オーディションに入选し、解説員に。初解説は2016年8月国立劇場、稚魚の會・歌舞伎会合同公演「寿曾我対面」。著作に『近代歌舞伎年表名古屋篇』、『歌舞伎俳優名跡便覧』など

附け打ちとは？

附けとは登場人物の動きや力強さを強調させることで、物語を印象付けるために使われます。主役が登場する重要な場面や、衣裳の変わる様子（ぶっかえり）、大道具の転換（せり上げや屋台崩し）や小道具の仕掛けの印象づけなどにも使われます。「芝居に音をつける」ことから、「附け」と言われます。この附けを打つものを「附け打ち」と呼びます。附け打ちは舞台の上手に登場して、附け板と附け木の二つの道具を使って音を出します。

「敷居が高そう」「難しそう」というイメージのある歌舞伎を楽しいエピソードを交えてトーク形式で解説！
歌舞伎の効果音ともいえる「附け」を打つ「附け打ち」と、音声ガイド「イヤホンガイド」の解説者が歌舞伎のウラオモテも分かりやすくお伝えします。
松竹歌舞伎公演に先駆け、ツウも初心者も楽しめるカブキトークショーです。

松竹歌舞伎舞踊公演 開催記念講座

2022年

6月11日(土)

13:00開演 12:30開場

津市久居アルスプラザ
(三重県津市久居東鷹跡町246)

ときの風ホール

料金 500円《全席自由》

※未就学児入場不可

チケット発売日	2022年 5月28日(土)
電話	8:30～
オンラインチケット	窓口 10:00～
窓口・電話	
津市久居アルスプラザ サービスセンター	
TEL 059-253-4161 (8:30～22:00/休館日除く)	
インターネット	
津市久居アルスプラザ	
オンラインチケットサービス (PC・スマートフォン対応)	
https://ticket.kxdfs.co.jp/tsuhisai-ars-s/	

※チケット購入後のキャンセル・払い戻しはできません。
※車いす席をご利用の方は購入前にお申し出ください。
※新型コロナウイルス感染対策については、津市久居アルスプラザウェブサイトをご確認ください。

お問い合わせ



久居アルスプラザ

TEL 059-253-4161

※休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）12月29日～1月3日
※津市久居アルスプラザウェブサイトからお問合せいただけます。
※近鉄久居駅から徒歩11分 公共交通機関でのご来館にご理解とご協力をお願いします。

〒514-1136 三重県津市久居東鷹跡町246番地

は「き」の「ま」

